

第5回そうめん交流会 8月6日(日) 支部会館 みんなで来てね



けんせつ 清瀬久留米

発行所

東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙

〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17

TEL 042-473-8751

FAX 042-473-8753

発行者 尾 芦 富 雄

編集者 砂 川 恵



目指せ100%

今年も盛況日曜健診

東久留米わくわく健康プラザ

5月28日(日)、東久留米市わくわく健康プラザで日差しも強い中、276人の受診者がありました。

当日、受付の前で「PAL」のアンケートを呼びかけ、133人もの回答が得られました。

早期発見のために 清瀬小学校体育館



6月18日(日)清瀬小学校で集団健診が行われました。昨年は日差しが強かったため、今年は日よけの準備をして、暑さ対策を心がけましたが、当日は予報があたり、午後から雨。健診が終ってから降り出したのでテーブルの下にもぐろうと頭からもぐるが、なかなか潜れない。後で聞いたら尻の方から入った方が入りやすいとのことでした。横揺れの激しさは、震度7の揺れとのことでした。すごかった。



また、受診後は、お茶を配りながら「流しそうめん」と「住宅デー」の案内を行い、8割ぐらいの組合員さんに興味を持ってもらえました。多くの組合員さんが受診してくれましたが、まだの方は直接病院での受診をお願いします。また、会社や

仕事先での受診でもOKです。支部に届けて頂ければ補助金の申請もできます。組合員・家族が健康診断を受けることで、支払う健康保険料の抑制にもつながります。みんなで受診率100%を目指して行きましょう。

上：要員の支部役員の面々は「PAL」キャップと揃いのポロシャツで活躍
左：朝一番の受付は毎年長蛇の列



震度7を体験

松竹分会 防災体験学習会

6月11日(日)池袋防災館で体験する。「火災発生」という声で、煙の中から避難をする練習です。煙を吸い込まないように、口と鼻をハンカチでふさぎ、腰をかかめて出口を探します。冷静な判断力を身に付ける事が大切な事だと教えてくれた。救助・救出のコーナー

では、屋内外の落下・転倒物からの救出方法を実際に体験し、身に付ける学習をした。地震コーナーでは、私が最初に申し出て、仲間4人とチャレンジした。揺れを感じたらまず身の安全を守る行動が大事だと教わり、我々のテーブル5人でイスに腰を掛けていると、すごい揺れに襲われ、急い

でテーブルの下にもぐろうと頭からもぐるが、なかなか潜れない。後で聞いたら尻の方から入った方が入りやすいとのことでした。横揺れの激しさは、震度7の揺れとのことでした。すごかった。消火コーナーでは、消火器の中身は粉末と液体とがあり、物や場所によって使い分けると良いとの事。消火器の使用時間が、私の思っていたよりずっと短い事にビックリした。約30秒ぐらいとのことだ。全員で消



参加者全員で記念写真。他分会の仲間も参加してくれました

松竹分会 天野俊昭

留米会場と合わせて605人が受診しました。今回の健診が受けられなかった方も早期発見のために忘れずに受診してください。私たち実行委員や役員は、PALと後継者対策部で作成した、色とりどりのポロシャツを着て参加しました。今後のイベントでも活躍しそうです。一緒に着てくれる方、大歓迎します。

元塩分会 杉村真理



前川PAL会長(左)とアンケートに答える健診受診の仲間。受付の待ち時間を利用したとりくみを継続しています



幹部学校全体会の様子。全都36支部から500人を超える仲間が集結し、組合運動を分野別に学習した

共謀罪は即廃案

改憲は力を合わせて阻止しよう

6月25日(日)、第43回幹部学校が、ベルサル日本橋で開催されました。全36支部571人の参加、支部からは16人で参加しました。午前中の全体会と、午後の分科会という形で行われ、全体会では「賃金運動のテーマ」で講演がありました。近年、大手建設会社では高利益を上げているにも関わらず、現場で働く仲間の賃金は一向上がらない。社会保険未加入問題や、法定福利費の件でも、まだまだ浸透していない様です。労働組合という大きな組織力でたたかい、勝ち取って行く事の大切さを学びました。

午後の分科会では、「平和講座」に参加しました。6月18日、与党は国民に説明もないまま、共謀罪法案を強行に可決成立させました。我々の生活にも関係してくる、大きな問題です。これをいいことに、次は改憲へと進むつもりでしょう。

憲法は、我々国民が政府に守らせるものであり、首相の一存で変えられるものではありません。平和を脅かす改憲は、力を合わせて阻止して行きましょう。幹部学校で学んで来た事は、組合の仲間と共有し、活動に活かして行きたいと思えます。

松竹分会 尾芦富雄

街づくりの一環として

住宅デー40周年の総括

大盛況の2日間

5月21日、6月4日と2日間に分けて行われた住宅デー。両日も天候に恵まれ、大盛況の2日間となりました。

40周年という節目の年でもあり、人手不足になることが予想されていた分会は、事前に他分会への声掛けを行っていた様です。分会間で大盛り上がりでした。

今回の住宅デーでは、「チケット制」を取り入れる分会や、記念品の「てぬぐい」を配布するなど新たな取り組みも見られました。私の所属する滝山分会では、木工教室を行う前に、練習として釘打ち体験をしたり、初となる「フランクフルト」

を出したりと、意欲的な催しが行われました。また、小・中学生を対象とした木工教室では、様々な作品を、地域の方々と組員さんが、一体となって作り上げてい

色々な可能性

年数を重ねる事に、地域の方たちの声も身近で聞ける事が多くなりました。また、分会同士の仲間づくり運動が、こうした活気ある住宅デーとなっているように思えます。ある分会の打ち上げでは、第41回住宅デーについて、日程調整や出し物を話し合う場面まで見られました。

子ども工作教室は長蛇の列

清里分会 6/4 JA横市職員駐車場

朝、十時前から並んだ人もあり、支部四役の前川さんが一番乗りでお手伝い。清瀬市長の渋谷さんも昼過ぎまで参加して頂きました。北島委員長や山内書記等が応対し、接待は古名さんがあたり、という話が交わ

されたかは秘密です。会場では子ども工作教室が人気で長蛇の列。公園で遊んでいた親子連れに風船を持って行つて勧誘して、工作に参加してもらったところ、皆喜んでいました。風船、ヨーヨー、包丁研ぎ

にまな板削りと、対応した組員さんはお疲れさまでした。

一つの分会だけでは出来なかった事が、他分会と合流し助け合う事で、いろいろな可能性を見出すことが出来てきました。地域の方たちに東京土建の存在を知ってもらい、住宅デーがより良い街づくりの一環となればと切に願います。

仕事対策部長 清水純



上：元塩分会が行う上棟式は大人も子どもも大勢集まり、毎年大盛況
左：大工体験コーナーは釘打ち、かんな掛け・丸太切りを組員員の指導の下、子ども達も楽しく体験

餅撒きに群がる子ども達

元塩分会 6/4 清瀬第三小学校

清瀬わかば会と合同の住宅デーを開催しました。最大の盛り上がりは上棟式。小林さんの上棟式の詳しい説明の後、「それでは餅撒きを始めます」の合図と共に、若き組員さん2人が、屋根の上から「それっ」と掛け声にあわせてお菓子を撒きます。それに群がる子

供達と親御さん、いっぱい拾って、満面の笑みを浮かべているお子さんの姿を見ると、嬉しく思います。朝から「何時からお菓子撒くの?」と聞きにくる人もいるので、毎年これを楽しみに来ているお子さんも多いんだらうと思う。他にヨーヨー風船、丸太切り、釘



北浅分会はベテランが植木ハサミを研ぎます
金魚すくいを楽しむ子ども達に仲間も笑顔で対応



三葉分会の電気工作教室

多彩な催しで盛り上がる

三葉分会 5/21 市民プラザ

今年の三葉分会の住宅デーは、快晴に恵まれた。三葉分会と南町分会の共催に加え、今年には東久留米と清瀬の各分会から多くの仲間が駆けつけてくれました。

棟式」などのほか、恒例となった焼きそば、かき氷、ヨーヨー・スパーボールすくい、主婦の会のミニバザーなどに、大人も子どもも大いに楽しみました。とくに「子ども木工教室」は大盛況で、10人の大工さんが親切丁寧に指導し、「とても楽しかった」という声がたくさん寄せられました。一方で、「包丁研ぎやまな板削りもやってほしい」との声も聞かれました。

会場には、並木かつみ東久留米市長や日本共産党の原のり子都議候補、宮本徹衆議院議員も激励に訪れました。

三葉分会 坂内三夫

課題の多い住宅デー

青空分会 6/4 八幡岡地集会所広場

6月4日晴天の中、住宅デーが開催されました。今年

年は、八幡岡地が建て替えの為、来場者も少ない一日となりました。

また、今年には分会での日曜行動等がうまく機能できなくて、一人が3千枚のチラシを配ったり、住宅デーの後日、今年はいつやるの」と問い合わせがあったりと、課題が多く出た住宅デーとなりました。

当日参加してくれた組員さんは、毎回のよう



本当のお餅まき「イテテ!」の声

南町分会 5/21 市民プラザ



住宅デーに準備から開催中、そして後片付けに携わった方々、大変お疲れさまでした。今年は、子ども達の姿が少なかったかしらと思



上：青空分会は恒例の朝礼で気合入れ
下：ベテランと一緒に佐藤青年部長も包丁を研ぎます



た。今年の課題を分会で話し合い、来年度の新役員さんに繋げなくてはいいな」と思いました。

青空分会 長谷川重之

東久留米環境フェスティバル

踏み台と貯金箱づくりで

大賑わい



シニア友の会が加工した多摩産材の踏み台を家族と一緒に作る参加者

6月11日(日)、市民プラザ広場で開催された環境フェスティバルに、今回初めて東京土建も参加しました。出し物は環境フェスタにちなんで、多摩産材を使った「踏み台」と「貯金箱」の木工教室で、私は子ども達のアンケートを担当しました。開会してすぐは、プラザの中に多くの人が入っていきばかりで、職人さん達は暇そうでしたが、昼近くになると、家族連れの人が集まってきて忙しくなりました。

がっちり安定した木製の踏み台は年配の人にも好評で、大人でもよいと聞くと喜んで体験していました。トントン釘打ちをする家族や大人で、テントの中は混んで大賑わいになりました。並木市長が様子を見に来訪したり、写真を撮りながら市職員の人に来て、砂川

『ふるさと食堂』開店

書記が説明に依じていました。午後3時ごろには用意した材料が全部なくなってしまうしました。最期に、参加者全員の写真を撮り終りました。市職員、高校生から市民団体など、大勢の人達との交流する場に参加出来て良かった。終了後、慣れない若者達のテントの後片付けを手伝ってあげていた、土建の組合員さん達が頼もしく、思わず見入ってしまいました。青空六分会 廣野順子



受付には多摩産材の解説パネルを設置して説明し、アンケートに答えてから木工に挑戦してもらう
下：組合員講師が子ども達に丁寧に指導



春の大運動打ち上げ

テーブルいっばいの手料理

6月18日(日)清瀬の健康診断を終えたあと、支部会館で住宅デーと健康診断春の大運動の打ち上げを兼ねて、参加してくれた方々が持ち寄ってくれた美味しい手料理のご馳走で、テーブルがいつぱいでした。主婦の会の皆さん、滝山分会の清水さんと斉藤さん、本島さん、デザートを差し入れて下さった北島さん、ご馳走様でした。元塩分会 杉村真理



「おつかれさまでした！」春の運動を牽引した笹原組織部長と徳武社保対部長

元塩分会 杉村真理



テーブルいっばいの手料理で仲間を労ってくれた主婦の会の皆さん。おいしそう！

柳本留美子

主婦の会会長

次は『流しそうめん』でお待ちしています



集団健診の後でしたので、少しヘルシーなおつまみ風のメニューを、地元東久留米産の野菜で考えました。お手伝いして下さった主婦の『手』はやはりすごかった。出来た料理の盛り付けの時、「仕出し弁当つくれそうネ」との会話にほのぼの。また少し、皆さんとお近づきになれたと思います。今後は夏の流しそうめんに向けて、一緒にやっていきたいと思っています。どうぞ皆さん、ご家族そろって来てくださいね。お待ちしております。

私は幼少より東久留米に住んでいます。自宅の裏に落合川が流れ、それに沿って遊歩道があります。当初は、自宅の裏ギリギリまで川端があり、台風や大雨等で水嵩が増え、あふれる程になっていました。その後工事が進められ、



いつもの風景

三葉分会

赤塚隆雄

現在の風景になりました。今では、早朝は散歩する人、ランニングをする人、そして夏には川遊びをする子供達、家族連れでテントを張ってお弁当を食べるなど。様々な風景があつて、その時その時いつも新鮮に眺めています。外から見る我が家はいつもの風景なんだろうなと思います。